

イベント紹介

第72回東北大学祭はオンラインで開催決定!

こんにちは。東北大学祭実行委員会の委員長を務めている高田健介と申します。

今年度、東北大学祭は11月22日(日)、23日(月・祝)の両日「Re:start」をテーマにオンラインで開催することとなりました。キャンパスを利用した通常通りの開催が出来ない中、オンラインでもやる価値があると考え開催する決断をしました。特設HPを設置し、参加団体の方から頂いた事前収録動画の公開、Zoomなどを利用した企画をYouTubeでリアルタイム配信、教授による模擬講義等の企画を考えています。

開催形態が変われども、東北大学祭に関わる全ての方を笑顔に出来るよう、実行委員一同頑張りますので是非一度HPを訪れてみてください。

大学祭公式HP festa-tohoku.org

大学祭公式Twitter [@festatohoku](https://twitter.com/festatohoku)

報道部紹介

オンライン上での活動を行っています

東北大学学友会報道部では現在、新型コロナウイルス感染拡大を受け、主にオンライン上での活動を行っています。紙面のボリューム・発行部数の縮小などの活動制限も少なからずありますが、従来は対面で直接行っていた取材や部会をオンライン上で行うなど、「ニューノーマル」な活動形式を模索し続けています。

今後も、東北大学唯一の公認メディアとして、感染防止対策を徹底するなど社会的責任を果たしつつ、良質なニュースを読者の皆様にお届けできるように活動を続けてまいります。



※使われている写真は文化部常任委員会のものを除き、新型コロナウイルスの感染が広がる前に撮影したものです。早く皆で集まれる日が戻ることを願っています。

学友会に関する問い合わせ先

川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター東棟1階2番窓口 教育・学生支援部 学生支援課 活動支援係 TEL.022-795-3983



学友会ホームページ：
トップページから「教育・学生支援」→「学友会・サークル」の順にリンクをたどってください。



第30号

No. 30

GAKUYUKAI

令和2年10月15日発行

東北大学

学友会

学友会の活動・運営をお知らせする広報紙

題字：書道部 遠藤 俊太郎
(平成23年度卒)

P.1 大学生活における課外活動の重要性を実感する ●学友会総務部長 小田中直樹(経済学研究科・教授)	P.2-3 学友会所属団体紹介(文化部) ●文化部常任委員会 ●アマチュア無線部 ●放送研究部 ●国際交流団体@home	P.4-5 学友会所属団体紹介(体育部) ●体育部常任委員会 ●漕艇部 ●相撲部 ●ヨット部	P.6 イベント紹介・報道部紹介 ●第72回東北大学祭はオンラインで開催決定! ●学友会報道部の活動を紹介します
--	--	---	---

大学生活における課外活動の重要性を実感する

学友会総務部長 小田中直樹(経済学研究科・教授)

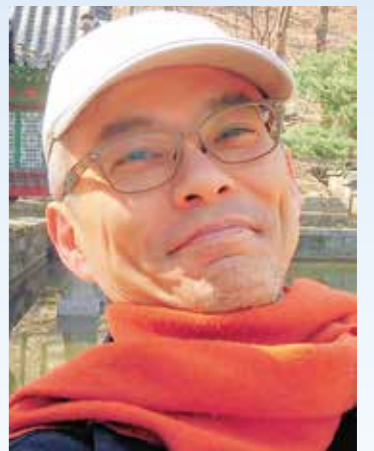
2020年度は、新型コロナウイルス感染症のせいで、オンライン中心の授業、課外活動の禁止と、半世紀以上生きていく経験したことがないキャンパスライフが始まりました。教員にとってもストレスフルな毎日ですが、学生諸君にとっては、友人にも会えず、課外活動を含めた集団行動も出来ない日々というのは、すさまじいストレスを生んでいるのではないかと感じています。

そのようななか、東北大学では、7月に入って、ようやく課外活動の解禁に向けた動きを取ることが出来るようになりました。多くの学生諸君の目には「開始が遅すぎる、解禁のスピードも遅すぎる」ようにうつるかもしれませんが、学内の感染症対策の専門家教員の意見を聞きつつ、「本学からクラスターを出して市や県の医療崩壊をもたらすことは絶対に避けなければならない」という本学の社会的責任を反映した「遅さ」だと考えてほしいと思います。

課外活動の「課外」は「正課」つまり大学の本質的な活動の「外」にある活動を意味しています。しかし、課外活動が禁止され、あるいは厳しく制限されてきたこの半年を顧みると「課外活動もまた、大学の本質的な活動の一部なのではないか」という気がしてこないでしょうか。課外活動なき大学は大学ではない、ということです。

大学は知識を学び(教育)、また生み出す(研究)「場」ですが、すぐれた知識は、たいていはひとりでは生み出せないものです。それは、学生・教職員といった大学の構成メンバーがさまざまなかたちでコミュニケーションするなかで姿を現してきます。そして、課外活動は、この「コミュニケーション」の重要な一翼を担っています。

課外活動と正課が有機的に結びつきあう大学が、一日でも早く復活しなければなりません。ここ東北大学でも。



学友会報道部が全ページを編集しています!

学友会

本学全ての学生・教職員が会員となり、サークル活動、大学祭、新入生歓迎行事、教職員スポーツ大会などに対する支援を行っています。

この広報紙は皆さまの学友会費により作製されています。

学友会所属団体紹介

文化部

学友会には、数多くの文化系団体があり、魅力的な活動を行っています。
ここでは文化部常任委員会、アマチュア無線部、放送研究部、国際交流団体@homeを紹介します。

学友会に所属する団体の活動や アピールを紹介します。

文化部

文化部常任委員会

文化部常任委員会は学友会文化部各部の代表者によって構成されており、学友会文化部全体の運営を行っています。コロナウィルスの感染拡大を受けて活動自粛が要請されている中、安全を保ちながら少しでも早く各部の活動が再開できるように、各々の部活が抱える不安や問題、必要な対応などについて会議で提言するなど、各部と大学の橋渡しのような活動を行っています。

今後は、段階的に学友会の活動が再開されていく中で、再開に向けての各部の問題を解決する手助けを行っていきたいです。加えて、まだ所属する学友会・サークルが決まっていない多くの1年生のために、ホームページや冊子の配布による学友会の情報を提供していきます。また、コロナ収束後に、期間を設けた新歓の実施についても、大学と各団体の意見の橋渡しを行っていきたいと思っています。



放送研究部

私たち放送研究部は、例年ラジオ番組やラジオドラマの制作、地域のイベントのMCなどさまざまな活動に取り組んでいます。夏合宿や年に2回行われる他大学と合同のドラマ発表会など、一年を通して多くのイベントが組み込まれているのが放送研究部の特徴です。

今年はこのような状況の中で思うように部室でのラジオ収録ができず、春に行われるはずだった新歓活動も慣れない中で暗中模索する日々でした。しかし、そんな中でも、「ラジオを録ろう」という部員たちの思いは変わりません。右上の写真は昨年のものですが、このように部の公式アカウントからオンライン収録した番組の発信を試みるなど、今私たちができることを部員同士で考えて活動に励んでいます。

有難いことに、すでに入部を決めてくださった新入生もいます。放送研究部ではまだまだ新入部員を募集中です！新しい仲間たちと共に、これからも私たちは精進していきたく思います。



アマチュア無線部

私達、アマチュア無線部は国内外の人との交信や、無線のコンテストへの参加など、その名の通りアマチュア無線を使う活動をしている部活動です。主な活動内容はキャンパス内や無線のつながりやすい県内外の山などに行き各地の人と交信したりすることや電子工作を行っています。今年は集まったの活動が難しかったため個人でのアマチュア無線のコンテスト参加に加え、部員がオンラインで集まって無線技術に関する研究会を行ったり、各自の知識を共有しながら部誌を作成したりする活動を行いました。

今後は部員の技術向上と無線文化の普及を目標に積極的なアマチュア無線の運用やコンテストへの参加、様々な無線の魅力を発信する活動を企画・実行していきたくと思っています。少しでも無線や電子工作に興味がある方は是非アマチュア無線部のTwitterもしくは川内キャンパス部室G19へお越し下さい!!



国際交流団体@home

みなさん、こんにちは！国際交流支援団体@homeです！

私たちの主な活動内容は、留学生向けのイベントを企画・運営することです。例年、留学生と松島へ観光に行ったり、和菓子パーティーを開いたりもしています。今年度は新型コロナウイルスの影響で例年のような活動はできていませんが、オンラインでのゲーム大会やクイズ大会を企画し留学生と交流してきました。

また、@homeにはたくさんの学部学生が所属していて留学生以外の学生間交流も盛んです。大学祭の準備・運営や「うちみ企画」というサークル内で行われるイベントを通して交流を深めています。興味のある方はぜひ@homeのTwitterアカウント(ユーザーネーム:@athome123)宛にDMを下さい!



学友会に所属する団体の活動やアピールを紹介します。

体育部

体育部常任委員会

体育部常任委員会は50以上の体育部加盟団体の統括とサポートを行っています。具体的には、各部活動に対する予算の配分、機関誌「北雄」の発行、代表委員会などを通じた各部間の交流促進や春・秋のスポーツ大会や北雄杯駅伝などの学内に向けた様々なイベントを行っています。また、七大戦の企画、運営も行っています。現在は常会や課外活動再開に向けた各部活動、大学との連携をオンラインで行っています。東北大学は七大戦において三連覇を達成しており、現在は史上初の四連覇を目標に運営しています。また、2年後には東北大学主催の七大戦があり、少しずつ動き出しています。

現在部員を募集中です!! 色々な部活動や大学の人と関わりたい、活動内容をもっと知りたいなど少しでも興味のある方は、常任委員会のTwitterにDMでご連絡ください!!



漕艇部

私たち漕艇部は日本一、インカレ優勝を目標に掲げ、選手・スタッフ含む総勢80名が互いに切磋琢磨しながら練習に励んでいます。

水面を滑るように自力で漕ぎ進める充足感。クルーボートの一体感。切迫したレース展開の興奮。勝利し感情が爆発する瞬間。どれもボート競技の大きな魅力です。部員の9割が初心者で、初めのうちは自信なさげな部員たちも、4年間で心身ともに成長し、私大の強豪にも負けられない実力を付けていきます。

4月にはコロナの影響で活動自粛となり、もどかしい日々が続きました。中でも、オンラインで励まし合いながら筋力トレーニングを行ったり、zoomミーティングや食事記録で知識強化を図ったり、屋外で個人練習を継続したりするなど、工夫して活動を続けました。徐々に活動ができるようになった今も、多くの人々に支えられながら、部員一同、日本一へとまっすぐに漕ぎ進めていきます。

体育部

学友会には、数多くの体育系団体があり、日々、心と体の鍛錬を行っています。ここでは体育部常任委員会、漕艇部、相撲部、ヨット部を紹介します。

相撲部

「相撲」とは皆さんご存知の通り国技であり、見たことがある人が多い中、実際に経験することは少ない競技です。

部員は全員が相撲未経験者で構成されており、週3回、学内の土俵で稽古をしています。また指導者はおらず、互いに助言をしあい、勝利に向かって稽古に励んでおります。

自粛期間は土俵に入ることができず、各自で「四股踏み」など自主稽古を積み、屈強な身体づくりに励んでおります。今後いつ部室に入れるかわからない状況下ではありますが、定期的に連絡を取り合い、ミーティングをし、互いに励まし合いながら各自稽古に取り組んでいます。

学友会相撲部の目標は、七大戦・国公立大会での団体戦優勝です。昨年は両大会とも準優勝に終わってしまいました。昨年の経験を活かし、来年の両大会優勝を目指し、今後も稽古を頑張っていきます。



ヨット部

学友会ヨット部では毎週末土日に宮城県七ヶ浜町近海で活動を行ってきました。活動自粛期間においては主に新歓活動、各自でのフィジカルトレーニング、オンラインでのミーティングや座学を行いました。特に今年は他大学も活動をできていないことでプロのセーラーからオンラインでの勉強会を受けられるなど練習ができなくともチームとして成長をすることができました。

今年の代としてはスローガンに歴代最強、目標に全日本インカレ9位を掲げています。私たちはここ数年

あまり良い成績を残せておらず、設定した目標も高いものです。けれど各部員がこれまで以上にヨットの事を考え努力し、OBも含めたチーム力を高めることでこの目標は実現可能だと考え取り組んできました。残り時間も少なく制限のある中での練習ですが、部員一同目標を達成に向け励んでいます。